

【実施報告】 2026年5月 千葉県木更津市立 八幡台小学校 4年生

# 教材学習とフィールド体験で

地域の貴重な自然

## 日本有数の自然干潟「盤洲干潟」を知ろう



### 概要

LAB to CLASS『干潟のジグソーパズル』のモデルになった、千葉県木更津市にある盤洲干潟で、市内小学生を対象とした自然体験プログラムを実施しました。

東京湾に残る広大な自然干潟の価値を、木更津市の“未来を担う子どもたち”に体験を通して学んでもらい、環境保全意識を高めたい…という市関係機関の強い思いから始まった当事業。木更津市の教育委員会との協働事業という形で運営をさせていただき、フィールド当日は県立博物館の専門員や八幡台小学校の先生たちのご協力の元、総勢98名の生徒さんが“干潟の海”を体験しました。

「海の専門知識を持たない先生も気軽に実施できる授業」を目指し、事前・事後授業を加えて作成したプログラムは、今後「モデル授業プラン」の一つとして、市内小学校へ紹介される予定です。

- ◆ねらい：地域の貴重な自然に触れる  
干潟（浅い海）の役割を知る
- ◆実施校：木更津市立 八幡台小学校
- ◆体験者：小学4年生 98名
- ◆実施場所：  
フィールド体験：盤洲干潟（千葉県木更津市）  
事前・事後学習：八幡台小学校教室
- ◆実施日：  
フィールド体験：2026年5月18日（月）9:30～11:30  
事前・事後学習：2026年5月14日（木）21日（木）
- ◆指導：伊東久枝・三好直子（海の環境教育NPO bridge）  
人見道夫（ネイチャーガイド 風の道）
- ◆干潟観察サポート専門員：柳 研介（千葉県立中央博物館分館 海の博物館）  
大原庄史（NPO法人生態教育センター）
- ◆使用教材：海洋学習教材 LAB to CLASS <https://lab2c.net>  
《干潟のジグソーパズル》  
「干潟を何かに例えると」  
\*環境教育プログラム『プロジェクトワイルド』のアクティビティ「湿地を何かに例えると」を参考に実施いたしました。
- ◆協働：木更津市教育委員会 学校教育課
- ◆協力：木更津市金田漁業協同組合／木更津市環境政策課

\*当プロジェクトの運営には、株式会社ZOZOの寄付金の一部を使わせていただいています。

---

#### ■教育委員会・県立博物館のサポートが💕

このプログラムは、木更津市教育委員会との協働事業として「自然や生物の専門教員以外も実施できるプログラムの構築」を目指し実施をしました。『干潟のジグソーパズル』の他、小学生にもわかりやすく工夫した教材を使った事前・事後授業（各2時限）と、フィールド体験をセットにした3日間のプログラムです。フィールド当日には千葉中央博物館分館「海の博物館」の干潟の生物の専門家にもサポートをいただき（県内の小中学校へは交通費・謝金なしで来てくださいます💕）、干潟の生きものにたっぷり触れてもらいました。

#### ■ほとんど知られていない?! 東京湾に残る奇跡の👍大自然

盤洲干潟は、東京・横浜・川崎・船橋・千葉等の大都市が面する東京湾にありながら、陸から

海への連続した自然環境が残り最大干潮時には東京ドーム330個相当の干潟面が現れるという、東京湾に残った唯一無二の自然干潟です。

全国的にみても屈指の広さを誇るこの干潟は、東京湾の原風景とも言え、江戸前鮎を生んだ自然豊かな東京湾の風景を今に伝えている場所。対岸に林立する都市部の高層ビル群を見ながら生きものに触れる時間は、開発と環境保全のあり方を、そこに身を置くものに、自然と問いかけてきます。

### ■多様な事業者の思いがつながる「ツール」に！

ここでの自然体験を通して、未来の木更津市を担う市内の小学生に「干潟の価値と保全の意義を知ってほしい」という市の強い思いから、今回のプロジェクトはスタートを切りました。地域の漁協も市内の小中学生の体験活動の受入には好意的で、また地域には『盤洲干潟をまもる会』や『金田の浜活性化協議会』など、以前から環境保全や海洋教育に積極的に取り組んできた団体も多く、学校現場と地域をつなぐツールがあれば、多くの人の思いが繋がって大きく動くのもう目の前！という気がしました。

このプロジェクトが、現場の先生方と地域をつなぐ一助になればとても嬉しく思います。

## ◎活動の様子

### 【事前授業】



- ・干潟のジグソーパズル <https://lab2c.net/materials/干潟/1428>
- ・事前授業では、ジグソーパズルをつかって、観察すべきポイントを事前チェック。
- ・「水の循環」で繋がっている、盤洲干潟と小学校や家がある内陸部の関係もパズルで確認。

## 【フィールド体験】



- ・この草原を貫く道の長さこそが、盤州干潟の凄さ。この景色こそが宝だと、彼らが気づくのはいつ？
- ・「トトロの森」と子どもたちに人気の高いゲート付近。



- ・1クラス30名以上が集まっても、少人数に見える…干潟の広さが圧倒的！



- ・わずかに水が残る地点は生物観察の絶好地点。小さな生きものの動きに夢中！
- ・干潟観察の一番人気は、やっぱりカニカニカニ。捕まえたり、挟まれたり、じっと眺めたり…大小様々なカニが子どもたちを魅了する

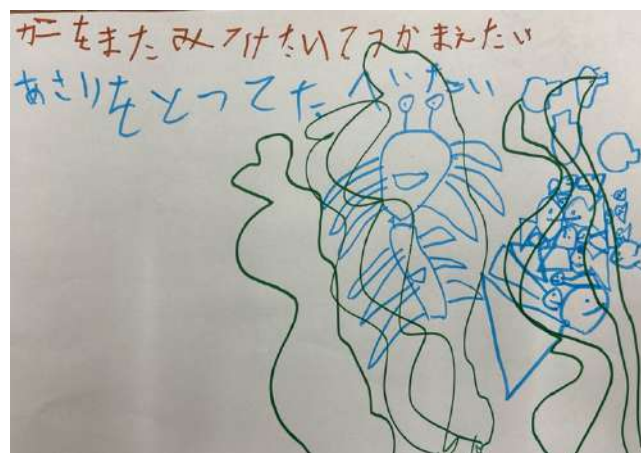
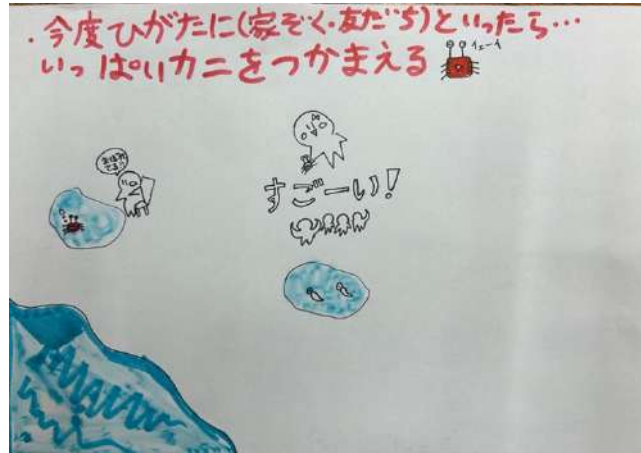
### 【事後学習】



- ・体験のふりかえり。映っている友だちを見つけて、大盛り上がり！
- ・パズルに再挑戦！当日フィールドで回収したプラスチックゴミを置いて、発生源も考えました。



- ・干潟の機能を身近なものに例えて、楽しく学習。「回転寿司」と「干潟」の共通点は？ いろんな魚がいる他には？ 子どもたちの想像力にびっくり。
- ・事後学習の最後には、フィールドでお世話になった専門家からのメッセージ。「あー〇〇のおじさんだ！」と大喜びでしっかり耳を傾けていました。

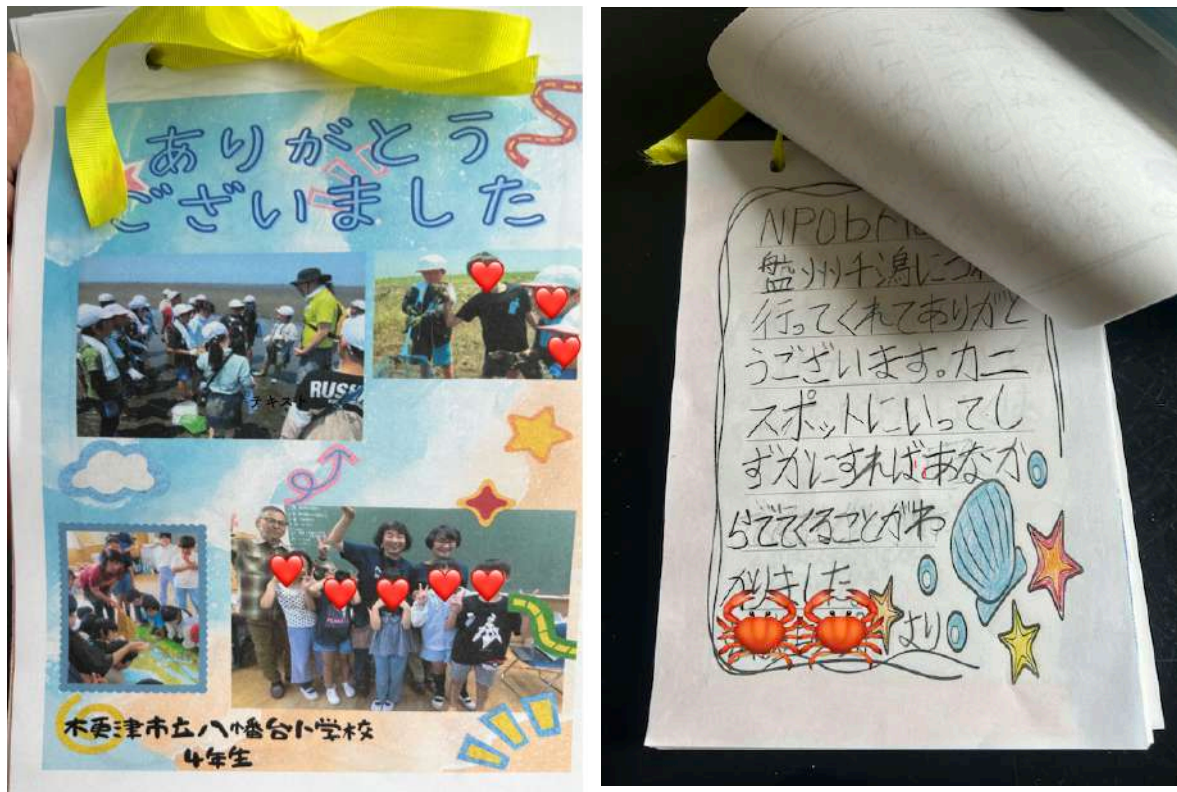


- ・事後学習で生徒たちが描いた絵には、干潟の楽しさとともに自然の特徴もしっかり描かれて・・・。
- ・水たまりの中には、小魚とカニ。
- ・海藻の間に生きものたちがたくさん隠れている！

## 【学習の展開】

八幡台小学校ではプログラム終了後も、担任の先生により総合的な学習の時間を使って、干潟体験をした4年生が、干潟のことを知らない3年生に向けて『盤洲干潟の魅力を伝える』ための発表用スライドの作成などを行うなど、体験を定着させるための学習が続けられました。

そして、こんな嬉しいプレゼントもいただきました。



・4年生全員からのメッセージが束ねられた冊子♡

## ◎実施後の感想（実施者：海の世界教育 NPO bridge /担当 伊東）

公立小学校での学年単位の実施には、まだ様々な課題があることも事実です。けれどこの知られざる“地域の宝”を子どもたちが実体験として感じることは、木更津市だけでなく今後彼らが多種多様な社会でグローバルな環境課題を解決していく上で揺るぎない指標と大きな原動力を生み出すことにつながるのではないかと思います。

そして、長期的に子どもたちの成長に関わる学校の先生方とのコラボは、プログラムの幅と奥行きを広げる可能性を常に感じさせてくれます。今後は、先生との協働によるプログラムづくりを、地域の事業者なども交えて実施できたら嬉しいと思っています。

\*今回実施をしましたプログラムの詳細は、後日別途ご報告をさせていただきます。